

やさしい
野菜づくり



ジャガイモ

作型 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

普通栽培



○ 植えつけ ※※※※ 収穫

育て方のポイント

生育適温 18～23℃
イモの肥大適温 18℃

- ①畑の準備
 - 植え付け前に石灰を施し、15cm程度に耕起する
 - 植え溝に堆肥、肥料を施用する
- ②植えつけ
 - 小さいものはそのまま植え、大きい物は2～4個に切る
 - 1片が30～40g程度の種いもを切り口を下にして植え付ける
 - 切り口は、草木灰をつけて植えるが、切り口を日陰で乾かしてから植える
- ③管理
 - 草丈10cmになるまでに1株1～2本残し、他は芽がきする
 - その後5cmの土寄せを行う 2回目の土寄せはつぼみができた頃10cmにする
- ④収穫
 - 茎葉が枯れ始めた頃に収穫を行なう

ワンポイント

- 極端な土壌乾燥は、空洞果(ほうそく乏症状)の発生原因となる
- 遅い追肥は、イモの品質低下と収量減につながるので注意!!!
- つぼみは、摘花しても収量はあがらないので取る必要はない

施肥例(1㎡あたり)

肥料・堆肥	基肥	追肥		備考
		①	②	
苦土有機化成特A801	150g	50g	50g	
苦土石灰	100g			
コンポストエース	2kg			

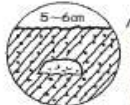
※追肥1回目は、芽かき後に施用するほうが望ましい。2回目は草丈20cm頃までに施用する

種いも

縦に切り各片に芽が同じくらいに着くように!!

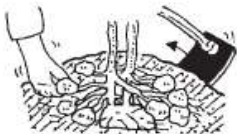


60～80gくらいの大きさなら2つに切り、さらに大きいものは、3～4つに切る 芽を2～4個つける



切り口は下に向ける 上に向けると発芽までに腐りやすい

収穫



イモが肥大したら掘り掘りし、初ものの味を楽しむ 完全に肥大したところを入れて掘り起す

植えつけ



種いもを配置する



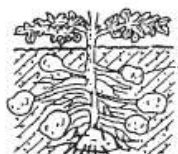
種いもの上に5～6cm土を掛け、軽く踏んで押さえる

芽かき



強いよいもを2本を残して他は取り除く 種いもを引き上げないよう株元を押さえ倒めの方向にがき取るとよい

土寄せ



種いもの上方に伸びた茎の先端が太ってイモになる

新いも



芽が15cmほど伸びたところとその半月後の2回、土寄せを4～5cmの厚さにおこなう 土寄せが足りないといもは肥大を損ね、地上に露出して緑化し、品質が悪化する